禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B76

「中央職業能力開発協会編」

令和６年度 技能検定
１級 サッシ施工 学科試験問題
（ビル用サッシ施工作業）

1. 試験時間　1時間 40 分
2. 問題数　50 題(A 群 25 題、B 群 25 題)
3. 注意事項
   （1） 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   （2） 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   （3） 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   （4） 試験開始の合図で始めてください。
   （5） 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A 群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   （6） 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   （7） 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   （8） 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   （9） 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　施工計画で取付け工程を表示する方法には、一般に、ガントチャート工程表が適している。

2　労働安全衛生法関係法令によれば、特別教育修了者でなければ、アーク溶接作業を行ってはならない。

3　日本産業規格(JIS)によれば、幅が3500mm以上のサッシの完成品における、相対する辺(対辺)の寸法差は、3mm以下とされている。

4　ドア枠の沓摺り部分については、ドア枠を取り付ける前にモルタル詰めを行う方がよい。

5　サッシ施工における後付け工法の乾式工法とは、建具枠を溶接固定した後、溶接部に防錆塗装を行い、枠と躯体間にモルタル詰めをしない工法をいう。

6　交流アーク溶接機の自動電撃防止装置は、溶接機の出力側無負荷電圧を危険のない電圧まで低下させる装置である。

7　被覆アーク溶接棒の被覆剤には、アークを安定させる働きがある。

8　防水モルタルは、使用する砂の粗さを細かくするほど、防水性が良くなる。

9　サッシ製品の品質保持は、運搬方法や保管方法には影響されない。

10　サッシ施工後に開口部を出入口として使用する場合、木枠等の養生は、一般に、総合工事業者の施工範囲である。

11　ジブクレーンとは、支点から斜め上方又は水平に突き出た旋回又は起伏可能なジブ(荷を吊る腕)を有するクレーンの総称をいう。

12　型板ガラスには、厚さ4 mmのものもある。

13　ルーバーは、羽根板を平行に組み込んだもので、通風、換気、遮光、目隠し等を目的として使用される。

14　突出し窓は、障子の上部を丁番又はピボットヒンジで吊り、下部を外に突出して開閉する。

15　日本産業規格(JIS)によれば、サッシにおける耐風圧性が等級S-1の場合、最高圧力は、500Paとされている。

［A群（真偽法）］

16　日本産業規格(JIS)によれば、サッシの気密性を表す等級のうちA-1とA-2とでは、A-1の方が気密性が高い。

17　日本産業規格(JIS)によれば、スライディングドアセットの必須性能には、開閉繰り返し性能が含まれている。

18　湿潤状態では、アルミニウムは、銅、鉄、鉛などと接する部分が腐食しやすい。

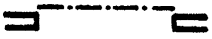
19　電磁レリーズは、火災時に煙感知器と連動し、防火扉の保持を解除する装置である。

20　ひとつの建物に、鉄骨造と鉄筋コンクリート造を併用してはならない。

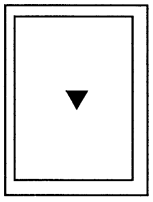
21　建物における架構式構造とは、柱、梁（はり）のような比較的細長い部材等を組み合わせて骨組をつくる構造をいう。

22　特記仕様書とは、標準仕様書と異なるもの、含まれていないものなどを特に記した仕様書のことである。

23　日本産業規格(JIS)の建築製図通則によれば、次図は、シャッターを表す平面表示記号である。



24　次図のように正三角形の記号が表示されている窓は、排煙口であることを示している。



25　労働安全衛生法関係法令によれば、移動はしごの幅は、25cm以上としなければならない。

［B群（多肢択一法）］

1　サッシの施工計画における製品の搬入、揚重、小運搬に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　製品の搬入は、現場の進捗状況と取付け工程に基づき、総合工事業者監督員等と打合せをして計画を立てる。

ロ　製品を搬入するときは、納品書と現品を照合し、符号、数量及び輸送中の損傷の有無等を確認する。

ハ　揚重設備による製品の荷揚げは、搬入日や時間等について事前に打合せを行い、全体の工程に支障が生じないように注意する。

ニ　製品を人力で運搬する場合は、1人当たりの負担荷重を40kgとして人員計画を立てる。

2　躯体開口部の確認に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　開口部寸法をチェックする場合には、芯墨と陸墨を基準にして計測する。

ロ　開口部寸法は、一般に、サッシ外寸法から上下左右それぞれ200～300mm必要である。

ハ　開口部調査の結果、開口部寸法が小さい場合は、チョーク等ではつり寸法を躯体に指示する。

ニ　埋込みアンカーのない場合は、チョーク等であと施工アンカーの打込み位置を躯体に指示する。

3　工場において建具をコンクリート壁と一体構造とする工法として、適切なものはどれか。

イ　後付け工法

ロ　PC(プレキャストコンクリート)打込み工法

ハ　枠組壁工法

ニ　先付け工法

4　鉄筋コンクリート造壁のサッシ取付け工法(後付け工法の湿式工法)に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　サッシ回りに防水モルタルを詰めるので、特に溶接固定をする必要はない。

ロ　建て込み、出入り調整用の“くさび”は、モルタル詰め前に必ず撤去する。

ハ　モルタル詰め部の鉄筋は、特に指定がない限り防錆塗装を行う必要はない。

ニ　差筋の埋込みがないときは、打込みアンカー等を打つ必要がある。

5　次の工具とその用途の組合せとして、適切でないものはどれか。

	工　具	用　途
イ	ディスクグラインダ	鋼材の切断や研削
ロ	シャーレンチ	接合部のビスの締付け
ハ	トルクレンチ	ハイテンションボルトの締付け
ニ	ジグソー	板材等の直線や曲線の切断

［B群（多肢択一法）］

6　皿頭ねじの皿取りに使用するドリルの先端角として、適切なものはどれか。

イ　45度
ロ　60度
ハ　90度
ニ　120度

7　ISOねじのM4のピッチとして、適切なものはどれか。

イ　0.65mm
ロ　0.70mm
ハ　0.75mm
ニ　0.80mm

8　板厚3.2mmの鉄板に、M5のねじ用のタップ立てを行う場合の下穴の径として、適切なものはどれか。

イ　3.1mm
ロ　3.6mm
ハ　4.1mm
ニ　4.6mm

9　重量物であるサッシ・ドアの取扱いに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　2人以上で重量物を扱う場合は、合図を明確にして調子を合わせること。
ロ　立て掛けた品物の中抜きはしないこと。
ハ　立て掛ける場合は、立て掛ける角度を60度くらいにすること。
ニ　品物をおろす場合は、手を挟まれないよう、あらかじめ枕木を準備して、その上におくこと。

10　サッシ・ドアの養生と製品保護に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　材料の搬出入口に使用するドア枠は、保護カバー等で補強養生する。
ロ　取付け作業のために養生の一部をはがした場合は、補修養生する。
ハ　アルミニウム合金製サッシの表面が汚れた場合は、速やかに汚れを除去する。
ニ　アルミニウム合金製サッシは、酸性やアルカリ性の物質が付着しても、変色などが生じない。

11　サッシ工事の施工設備に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　クレーンの吊り上げ荷重とは、その構造及び材料に応じて負荷させることができる最大の荷重をいう。
ロ　クレーンの定格荷重とは、吊り上げ荷重に、フック等の吊り具の重量に相当する荷重を加算した荷重をいう。
ハ　アームを有しないゴンドラの積載荷重とは、その構造上作業床に人又は荷をのせて上昇させることができる最大の荷重をいう。
ニ　建設用リフトの定格速度とは、搬器に積載荷重に相当する荷重の荷をのせて上昇させる場合の最高の速度をいう。

［B群（多肢択一法）］

12　サッシ施工の関連工事に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　鋼構造物工事には、軽量鉄骨で建築構造体をつくる工事は含まれない。

ロ　鉄筋工事は、鉄筋コンクリート造や鉄骨鉄筋コンクリート造の建物の骨組みに鉄筋を組込む工事である。

ハ　シーリング防水工事とは、合成ゴムや合成樹脂等のシート状の製品を防水層とする工事をいう。

ニ　とび工事には、重量物の運搬、揚重は含まれない。

13　サッシの種類とその開閉方式の組合せとして、適切でないものはどれか。

	サッシの種類		開閉方式
イ	引違い窓	・・・・	スライディング
ロ	横軸回転窓	・・・	スイング
ハ	片引き窓	・・・・	スライディング
ニ	上げ下げ窓	・・・	スイング

14　日本産業規格(JIS)によれば、ドアセットの性能項目において、スライディングに適用しないものはどれか。

イ　耐風圧性

ロ　ねじり強さ

ハ　気密性

ニ　水密性

15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

日本産業規格(JIS)によれば、ドアセットの耐衝撃性試験における砂袋の落下高さは、(　　)mmである。

イ　120

ロ　150

ハ　170

ニ　200

16　防火戸に関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　防火戸が枠又は他の防火設備と接する部分は、相(合)じゃくりとする。

ロ　防火区画に取り付ける建具は、防火設備としなければならない。

ハ　土蔵造りで厚さが15cm以上の防火戸は、特定防火設備である。

ニ　鉄製で鉄板の厚さが1.6mmの防火戸は、特定防火設備である。

［B群（多肢択一法）］

17　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

建築基準法関係法令によれば、特定防火設備の構造方法のうち、通常の火災による火熱が加えられた場合に、加熱開始後1時間加熱面以外の面に火炎を出さない防火設備の構造方法として、骨組を鉄製とし、両面にそれぞれ厚さが(　　)mm以上の鉄板を張った防火戸とすることと規定されている。

イ　0.2
ロ　0.3
ハ　0.4
ニ　0.5

18　次のうち、一般に、非磁性のものはどれか。

イ　SUS304
ロ　SUS403
ハ　SUS410
ニ　SUS430

19　次のサッシ・ドアに使用する付属金物のうち、自動閉鎖装置でないものはどれか。

イ　フロアヒンジ
ロ　オートヒンジ
ハ　ドアクローザ
ニ　ピボットヒンジ

20　コンクリートブロック造の構造として、適切なものはどれか。

イ　組積式構造
ロ　架構式構造(ラーメン構造)
ハ　ツーバイフォー構造
ニ　一体式構造

21　建築各部構造の一般的な役割に関する記述として、適切なものはどれか。

イ　柱は、上部荷重を基礎へ伝達する。
ロ　鉄骨階段は、地震時の水平力を梁(はり)へ伝達する。
ハ　床は、風荷重を受けて柱へ力を伝達する。
ニ　屋根は、地震時の上下動を支える構造となっている。

22　次のうち、建築図面の建具の高さを記載しているものとして、適切なものはどれか。

イ　平面図
ロ　矩計(かなばかり)図
ハ　建具配置図
ニ　伏図

［B群（多肢択一法）］

23　日本産業規格(JIS)によれば、建築図面に使用する線の種類のうち、隠れた部分の外形を示す線はどれか。

イ　実線
ロ　破線
ハ　一点鎖線
ニ　二点鎖線

24　消防法関係法令によれば、消防の用に供する設備として、適切でないものはどれか。

イ　消火設備
ロ　警報設備
ハ　避難設備
ニ　給水設備

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。

労働安全衛生法関係法令において、事業者は、(　　)m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないとされている。

イ　2
ロ　3
ハ　4
ニ　5